



神奈川の風



平成28年10月31日号

校長 吉江 明洋

< 紺碧祭 合唱コンクール終わる >

10月28日(金)に神奈川中学校『第67回紺碧祭』が開催されました。

実行委員会で決まった今年のスローガンは「独唱よりも ふつうに合唱が好き♡～金以外ねらっていないの～」です。



開会式の後、練習に練習を重ねてきた各クラスがいざ本番。今年の課題曲は、1年生は混声三部合唱「夢の世界を」。2年生は混声三部合唱「若い翼は」。3年生は混声四部合唱「大地讃頌」。その他、クラスで選んだ自由曲の2曲の合唱で審査されます。各学年ごとに課題曲の全体合唱の後、緊張いっぱい表情で1年1組からステージ上へ。

1年生は、男子の変声期が終わっていない影響も大きいのですが、初めての経験とはいえ、しっかり仕上げきて楽しい合唱ができたように感じられました。

また、2・3年生は昨年までの経験もあり「さすが」と思わせる歌声で完成度が高いクラスが多く、その意欲が態度や表情に表れていて観客を引きつけていました。審査員として全クラス全28曲を審査した私も、それぞれに良さが違いとても頭を悩ませました。

特に3年生は、最終学年として合唱にかかる意気込みが強く感じられ、今年も1・2年生の良い手本になったと思います。やはり、全員が気持ちを一つにして真剣に取り組む姿は美しいものです。下級生は、ぜひこの伝統を来年に引き継ぎましょう。

昼食を挟んだ午後は、国際平和スピーチコンテストに出場した3年2組安本好さんが「世界中の人々とつながる」の題でのスピーチと、保健体育科のダンス発表で盛り上がり、閉会式での合唱コンクールの結果発表では悲喜こもごも。

どのクラスが金賞になってもおかしくない僅差の内容でしたが、3年2組が全校賞を受賞して幕を閉じました。その結果はどうであれ、全クラスともに真剣さが姿に現れていて、毎年回を重ねるごとにすばらしい歌声となっていくことを実感させる合唱コンクールでした。

また、指揮者・伴奏者のご家庭では、終了するまで心配の日々であったことと思います。どのクラスも一生懸命に指揮をし、立派に弾きこなしてくれましたのでご安心下さい。家庭でのサポートありがとうございました。

その他、紺碧祭週間の26日(水)に開催された茶道部のお茶会。また、体育館前には国語・社会・英語・技術家庭・保体・個別支援級・美術部・パソコン部の成果が展示されましたが、日頃の活動や学習の様子がよく分かる内容でした。引き続き、職員室前の廊下やラウンジに展示しますので、来校の際にご覧いただければ幸いです。

委員長の3年齋藤美南海さんを中心とした紺碧祭実行委員の皆さんも本当にお疲れ様でした。すばらしい文化祭をありがとう。この全員の頑張りを今後の学校生活に生かしましょう。

また、多くの保護者の皆様にも参観・応援いただき、ありがとうございました。PTA役員、学年委員、校外委員の方々にも早朝よりお手伝いいただいたことに感謝するとともに、これからも、神奈川中学校を温かく見守っていただき、生徒や教職員に力と勇気を与えてくださるようよろしくお願いいたします。

